

(仮称) NEXT-吉祥寺2021 (素案) に対する意見募集結果

1. 募集期間：令和3年6月1日（火）から6月22日（火）
2. 配布・閲覧場所：吉祥寺まちづくり事務所、まちづくり推進課、市政資料コーナー、各市政センター、図書館にて配布。
各コミュニティセンター、市HPにて閲覧可。
3. 意見通数：計16通
4. 意見内容及び意見に対する市の対応方針

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
1	15	7-2(2)	ウォーカブルなまちづくりの推進	「ウォーカブルな町づくり」という考えは良いと思いますが、自転車を含めた道路整備を考えて頂きたいです。 自転車も市民の重要な交通手段なので、歩行者だけでなく自転車通行の面からの道路整備もお願いしたいです。 駅周辺のサンロード地域は寺社仏閣の所有物で手を付けられないという事情は聞いているのではないと思いますが、それを取り巻く形で歩行者と自転車を分けた環状の道路があったら良いかと思えます。	本計画については、吉祥寺駅を中心とした半径約500mの範囲内を対象としております。 自転車利用の課題及び方針等については、「武蔵野市自転車等総合計画」「武蔵野市自転車走行環境づくり推進計画」に示しております。
2	15	7-2(2)	ウォーカブルなまちづくりの推進	吉祥寺駅周辺にとどまらず、井之頭公園も歩行者と自転車の両方が安全に通行できるようにしていただきたいです。 井之頭通り、五日市街道の他、吉祥寺通り、連雀通りなどの主要道路も歩道が狭く電柱が邪魔な中、歩行者と自転車が混同しており危険だと思えます。 三鷹や西荻窪といった周辺地域に自転車で安全にアクセスできるよう道路環境の整備をお願いしたいところです。	本計画については、吉祥寺駅を中心とした半径約500mの範囲内を対象としております。 自転車利用の課題及び方針等については、「武蔵野市自転車等総合計画」「武蔵野市自転車走行環境づくり推進計画」に示しております。 井ノ頭通り、五日市街道、吉祥寺通りの一部は計画対象範囲に含まれますが、管理者は東京都となります。 吉祥寺通りについては、既無電柱化路線となっております。
3	13	7-2(1)-2	南口駅前広場の整備	パークロード商店街のバス通りの整備及び建物の高さを利用した開発をおこない、公開空地など使用し、ロータリーを整備	吉祥寺駅南口については、駅前広場を都市計画決定しており、約1,900㎡の駅前広場内にバス降車場等を設置し、パークロードからバスの通行をなくし、歩行者優先化を目指しております。
4	22	7-2(4)-1	震災への備え	中央エリアは、建て替えを進めるので合れば、市、国からの補助金など出すべきだと思います。後、お寺の理解です。	建物の更新における課題はオーナー、テナント、行政等それぞれあると捉えております。今後もそれぞれの視点からの検討が必要と考えます。
5	その他	-	-	一部用途地域の変更 容積率の緩和	貴重なご意見として頂戴いたします。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
6	その他	-	-	<p>吉祥寺は井の頭恩師公園等もあり古くから「住んでみたい街」の上位に選ばれるほど人気が高く全世代から支持をされてきた趣のある街であると思います。</p> <p>ですが近年、都市開発が進んだ都市周辺地域やその沿線自治体の人気が高まり吉祥寺にランキングは下降線をたどっています。</p> <p>その背景には他自治体の住民等のニーズをとらえた魅力的な都市開発にあると思いますが一方で吉祥寺の開発の遅れによるニーズの変化に取り残されて感は歪めない現実があると思います。</p> <p>吉祥寺の駅周辺地所は借地権が多く所有地が少ないため大きな資本が投入されにくい状況下であり、尚も行政区割りである商業区域、近隣商業区域が狭く建ぺい率、容積率が少ないため老朽化をした建物が建替等の判断が難しい状況にあるため開発が進まないのが現実だと思えます。</p> <p>特に吉祥寺一部地域を除いては人流減少や小規模施設の減少は顕著であり10年後の人口減少並びに納税減少につながるのではないかと危惧しています。</p> <p>現行の行政区割りの変更をして多くの企業の資本が投入し易い街づくりに取り込んで頂くことを願っています。</p>	<p>吉祥寺駅周辺に高経年建物が多く存在していることについては、市としても課題として認識しています。</p> <p>駅周辺については早期に商業地として形成された背景もあり、接道条件や狭小敷地が建物の更新が進まない要因の一つとして考えられます。</p> <p>また、「吉祥寺グランドデザイン2020」にて吉祥寺のまちづくりのテーマとして「界限性*」を掲げております。</p> <p>「NEXT吉祥寺2021」においても、「界限性」をテーマとしたまちづくりを推進いたします。</p> <p>*：新しいものと古いものとが互いに良い関係で共存し、生活感あふれる雰囲気を感じさせる個性的な街並みで、地域が多種多様な人々によってにぎわい、活気あることをコミュニティを形成している状態のこと。</p>
7	13	7-2(1)-3	武蔵野公会堂を含むパークエリアの将来像立案	<p>本文「まもなく築60年（省略）が不可欠です。」の後に、「また、駅近隣施設という立地であるため、帰宅困難者対応施設としての活用を検討します。」を追記する。</p> <p>【理由】</p> <p>「(素案)P6、4.社会情勢(1)頻発する災害と地球環境問題の深刻化、感染拡大の脅威(Point)多発する大規模災害に備えた市街地の安全性の向上」と掲げられている通り、2011年に発生した東日本大震災で首都圏を中心に多くの帰宅困難者が発生したことから、「武蔵野市地域防災計画 第2部 第7章 第3節吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会の活動促進」で対策検討がされたことから、武蔵野公会堂の更新にあわせ、帰宅困難者対応施設としての検討も必要であると考えます。</p> <p>また、帰宅困難者施設検討するにあたり、エネルギーの確保についても併せて検討することが効果的であると考えます。</p>	<p>武蔵野公会堂については、帰宅困難者用一時滞在施設 として利用する公共施設として「武蔵野市地域防災計画」にて位置付けているため、記載しておりません。</p> <p>公会堂の更新についてはエリアの将来像を踏まえ、建替え、延命等の様々な選択肢を含め更新の方向性・方針を検討いたします。</p>
8	13	7-2(1)-3	武蔵野公会堂を含むパークエリアの将来像立案	<p>取組みの進め方、武蔵野公会堂の更新の項目に「避難所施設対応としての検討」を追記する。</p>	同上
9	22	7-2(4)-1	震災への備え	<p>本文「建物の耐震化や(省略)情報発信・提供方法、」の後に、「および災害等により大規模停電発生時の避難所や帰宅困難者施設等、災害対応拠点の機能確保としての役割を果たすためエネルギーの確保」を追記する。</p> <p>【理由】</p> <p>災害による大規模停電発生時の避難所や帰宅困難者施設等、災害対応拠点の機能確保と、72時間を超えた停電に対する備えとして、都市ガスコージェネレーションシステムなどの自立分散型エネルギー等による電源の自立化・多重化の設備導入を推進方針に盛り込むべきと考えます。</p> <p>また、在宅避難における住宅への電源確保としては、気象等の条件の影響を受けにくく、「武蔵野市効果的なエネルギー活用推進助成制度」の対象設備とされている、燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)のレジリエンス機能が効果的だと考えます。</p>	<p>「武蔵野市地域防災計画」にて、エネルギー確保の多様化を図る旨記載をしているため、記載しておりません。</p> <p>「NEXT吉祥寺2021」については、吉祥寺駅周辺地区に特化した計画となっており、災害時の全市的な対応方針としては、「武蔵野市地域防災計画」、エネルギーの地産地消については「第五期武蔵野市環境基本計画」に明記をさせていただいております。</p>

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
10	22	7-2(4)-1	震災への備え	・個別施策名に「災害対策施設に対する防災力強化に向けた検討」を追記する。 ・取組みの進め方に「 ■ 災害対策施設に対する防災力強化に向けた検討>帰宅困難者対応施設の充実に向けたエネルギー確保/新型コロナウイルス感染症対策の検討」を追記する。	同上
11	16	7-2(2)-2	ウエストエリアの歩行者中心の交通環境への改善	本文「また、景観整備優先路線に指定されている中道通りについては電線類の地中化を中心とした道路景観整備を中長期的に進めていきます。」の記述について道路景観整備の観点はもちろんのことですが、防災面等震災への備えからの必要性についても盛り込んで頂きたい。 震災への備えの面から、無電柱化、電線類の地中化は喫緊の課題ではないでしょうか？	ご指摘いただいたとおり、防災面からの視点を追記いたしました。 本編20頁「また、景観整備優先路線に指定されている中道通りについては」の後に「、防災機能の向上や安全で快適な歩行空間の確保のため」を追記しました。
12	16	7-2(2)-2	ウエストエリアの歩行者中心の交通環境への改善	改善ポイントとして、「荷捌き車両のエリア内流入を減らすこと」を優先的に考えられているように感じるが、改善ポイントは、他にも「一般車両の流入を減らすこと」、「無秩序な自転車走行を減らしどのようなルールを採用するかを検討すること」がありますので、ぜひこの2つのポイントも記載して頂き、その中からまずは「荷捌き車両のエリア内流入を減らすこと」から始めるという文脈にして頂きたい。現状はもちろん把握されていることと思いますが、荷捌きについては、すでに青色の某社は、中道通りの駅に近いエリアで車両流入をやめ、台車や自転車を活用した配送を行っています。この流れを他社へ推進する意味でも、共同集配事業の推進の検討は優先順位の高い施策と考えますが、そればかりにフォーカスが当たりすぎないよう、その他の課題についても明記するべきと考えます。	ご指摘いただいたとおり、荷さばき車両以外の視点を追記いたしました。 素案16頁「荷さばき車両のエリア内流入を（省略）」の文章を以下のとおり修正しました。 本編20頁に「歩行者を中心とし、通過する車両の抑制を図るため、荷さばき拠点、各店舗への集配システムを整備、自転車の押し歩き等、中道通り、昭和通り、大正通りにおける交通機能の役割分担や地域ルール等について検討します。」
13	8	5-1/5-2	吉祥寺をとりまくまちづくりの展望と「(仮称)NEXT-吉祥寺2021」の推進	個々の事業の着実な推進に関しては、具体化が進捗するほどステークホルダー間の調整の重要度が増してくると考えられるので、調整者としての行政の役割が今まで以上に必要になってくるので、しっかりと関与してもらいたい。	貴重なご意見として頂戴いたします。
14	12	7-2(1)-1	駅周辺に交通体系の改善(交通結節機能の再編)	南口駅前広場については、目指す方向性と将来像の具体的なイメージがある程度見えているが、北口駅前広場に関しては、「北口駅前広場の機能更新」という言葉だけで漠然としており、抽象的で方向性のイメージが湧かない。	駅周辺の交通体系の改善に向けて、南口から検討に着手し、その後、吉祥寺大通りや平和通り等の道路機能のあり方を踏まえ、北口駅前広場も含めた検討へと移行する中で、ステークホルダーと共有していきたいと考えています。
15	15	7-2(2)	ウォーカブルなまちづくりの推進	吉祥寺全体の魅力向上と競争力の維持には、それぞれのエリアが、エリア毎の課題を解決することで、全エリアがバランスよく発展することが今後の展開に欠かせないものになってくると考える。 そのためには、各エリア内のステークホルダーが、進む方向について明確に同じイメージを持てるように、一層の具体的なプランを行政が提示して推進していくように望む。	今後30年の吉祥寺ブランドの方向性、吉祥寺の将来像をステークホルダーと共有するためのコンセプトブックとして、令和2年4月に「吉祥寺ランドデザイン2020」を策定いたしました。 「NEXT吉祥寺2021」は、「吉祥寺ランドデザイン2020」を踏まえたまちづくりを推進していくための行政計画となっております。
16	15	7-2(2)-1	イーストエリアの賑わいの創出	このエリアは街区のイメージが確立できていないので、パースなどのイラストを使用したこのエリアの目指す将来の全体イメージなどが欲しい	吉祥寺ランドデザイン改定委員会によって示された吉祥寺の将来像パースがあるため、「NEXT吉祥寺2021」において、別途作成することは致しませんでした。 「NEXT吉祥寺2021」では「吉祥寺ランドデザイン2020」を踏まえたまちづくりを推進していきます。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
17	16	7-2(2)-2	ウエストエリアの歩行者中心の交通環境への改善	街区のイメージがすでに確立されていて、課題もはっきりしている街区なので、着実な進捗を進めるロードマップが欲しい	ロードマップには至りませんが、取組みの進め方を施策毎に記載しております。 ウエストエリアの交通問題については、今年度より調査・検討を実施する予定です。
18	17	7-2(2)-3	セントラルエリアの回遊性向上	街区の課題は明確だが、越えるべきハードルも非常に高いエリアなので、10年のスパンで考えた場合、開発公社の果たすべき役割は非常に重いと同時に、民間のステークホルダーでも対応が可能な採算性のとれるプランも併せて検討していくべき	貴重なご意見として頂戴いたします。
19	22	7-2(4)-1	震災への備え	ハモニカ横丁に限らず、両エリアともに採算性の面から既存建物の更新が非常に厳しいエリアの為、10年スパンで考える時には、災害時の減災の為のリノベーションに焦点を当てる視点が欲しい。	ご指摘いただいたとおり、高経年建物の耐震補強・不燃化は喫緊の課題であると認識しております。 リノベーションについては「吉祥寺グランドデザイン2020」でも記載されており、「NEXT吉祥寺2021」においても耐震補強、共同化を含む更新、リノベーション等適切な手法を研究し、耐震性や耐火性の高い建物への誘導を図る必要性について記載しております。
20	25	7-2(5)	まちの魅力創造・価値向上	今後の吉祥寺が、将来にわたって引き続き地域間競争において高い競争力を発揮し続けていくためには、まさにエリアマネジメントがキーポイントであり、その核となる武蔵野市開発公社の果たすべき役割はますます重くなる。 その為、開発公社の一段の意識改革と能力向上を望む。	貴重なご意見として頂戴いたします。
21	12~29	7-2	重点的な取組み	吉祥寺グランドデザイン2020 は、ワークショップ参加者および幹事会地元幹事（いわゆる、本素案における武蔵野市以外のステークホルダー（地元商店会、事業者、地域住民、加えて不動産権利者））から活発な具体的施策の様々な意見が出されましたが、グランドデザインはビジョンの取り纏めの性格だった為、重点的な具体的取組みを実現する為の方策までは記されていません。 NEXT-吉祥寺2021（以下「本素案」という）は、第六期長期計画および吉祥寺グランドデザイン2020を受け、今後10年の市の行政計画としての具体的取組みの実現方策を示すものであり、重点的な取組みの実現方策の記載をより明確に加えてもらいたい。 本素案を確認する限り、重点的な取組みの「何をいつまでに実現しよう」としているのかが書き込まれていない。スケジュールはP29の1ページに上位計画と本素案の年次がバーチャートで記されているに過ぎず、実現しようとする個別の重点的な取組みに対する計画年次が全く記載されておらず、個別の重点的な取組みの実現に向けての市の意気込みが全く感じられない。重点的な取組みの個別のスケジュールを追記していただきたい。	スケジュールの表現方法については、事務局でも検討を重ね現在の表現といたしました。 年度毎のスケジュールではなく、10年間での取組みの進め方を示し、「10年で目指す到達点」として表現をしております。 到達点として示すことにより、市の考えを読み手と共有出来ると考えております。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
22	12~14	7-2(1)	駅周辺の交通体系の改善及び魅力的なパークエリアの将来像立案	<p>推進方策についても、P30のたった1ページのみに纏められているに過ぎない。市の主体的な都市計画等の面的な事業執行が無ければ実現不可能であるP12~P14の7-2“(1) 駅周辺の交通体系の改善及び魅力的なパークエリアの将来像立案”の取組みは、“(4) 安心・安全なまちづくりの推進”と併せ、特に緊急を要する取組みであり、具体的に何が障害で進んでいないのかを分析し、具体的な施策として実現するために、市がステークホルダー間と連携しながら、どうやって実現すべきかを示し、本素案は実現を担保するための行政計画を記すものとしていただきたい。</p>	<p>基本的な方針「(1)駅周辺の交通体系の改善及び魅力的なパークエリアの将来像立案」については、「10年で目指す到達点」として、「北口駅前広場の機能更新」、「南口駅前広場の整備、パークロードの歩行者優先化」、「パークエリアの将来像立案、武蔵野公会堂の更新方針の決定」、「景観道路事業の着手・推進」を掲げています。</p> <p>駅周辺の交通体系を改善させるため、南口駅前広場整備を推進するとともに、南口周辺の交通体系の検討を今年度より開始する予定です。</p> <p>都市計画決定されている南口駅前広場については引き続き整備を進め、駅周辺の交通体系、パークエリアの将来像等のパークエリアの課題については一体的、且つ慎重に検討を重ね、今後方向性を示す予定であります。</p> <p>引き続き、「安全・安心」を念頭に置いたまちづくりを進めて参ります。</p>
23	30	8(1)	様々な主体との連携によるまちづくりの推進	<p>「一方、吉祥寺のまちづくりに関わる様々な主体も、積極的にまちづくりに参画し、ステークホルダー間の連携によるまちづくりを一体的に推進したいと考えています。」</p> <p>と記されていますが、末尾の“考えています。”では、積極的にまちづくりに参画しようとしているステークホルダーの取組みに対し、市としてどのように受け止め、どのように市が連携していこうとしているのか不明です。</p> <p>現在も、公共貢献を掲げまちづくりを進めたいと活動している任意の主体（市以外のステークホルダー）は存在しています。そういった活動をしている主体との連携を活かせば、重点的な取組みの具体的な施策の実現は、より近いものとなります。</p> <p>そういった市以外のステークホルダーを市が活かそうとするのであれば、末文は、「一方、吉祥寺のまちづくりに関わる様々な主体も、積極的にまちづくりに参画し、市はステークホルダー間との連携によるまちづくりを一体的に推進していきます。」と変更していただきたい。</p>	<p>ご指摘いただいたとおり修正いたします。</p> <p>本編34頁、7(1)、「今後10年の吉祥寺のまちづくりにあたり、ステークホルダー間の連携のもの、6章で示した「重点的な取組み」「重点的な取組みを支える市の取組み」を一体的に推進していきます。」</p>

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
24	その他	-	-	<p>近年、外からガラス越しに見える（スケルトンの）放送スタジオが流行っています。私の知人がラジオのパーソナリティをやっている、何度か放送現場を見学しに行ったことがあります。</p> <p>パーソナリティとゲストの掛け合いが、耳からだけではなく、目でも見えることがとても新鮮だったと記憶しています。</p> <p>吉祥寺は商工会館の3階に、ラジオ局「FMむさしの」がありますね。外から見える場所で放送してもらえたら、もっと注目されると思います。新しくラジオ局を作ってもいいと思います。たとえば、「FM Kichijyoji」「吉祥寺Wave」とか。</p> <p>まず、人が多く行き交うユニクロがある交差点や、サンロード入り口にスケルトンのスタジオを作ります。（ユニクロ1階の一部をお借りできたら最高です！）そして魅力的なパーソナリティを起用して、吉祥寺らしいゲストをお招きします。（たとえば漫画家さん、作家さんなど）</p> <p>音楽、文芸、お店の紹介、日常の投書（お悩み相談）などリスナーが求める内容を発信したら、吉祥寺らしい文化の共有ができると思います。</p> <p>今の時代、団体や企業が、インターネットを使ってクラウドファンディングをしていますが、ラジオも使ってクラファンの宣伝をすれば、もっと支援者（出資者、寄付者、購買者）を集めることができると思います。吉祥寺の経済をも活性化させることができるでしょう。</p> <p>ラジオ放送はYoutubeでも同時配信できますし、吉祥寺に暮らす人も楽しめて、吉祥寺を日本全国、世界にも知ってもらえる素晴らしい時代です。</p> <p>ぜひ音波を使って、吉祥寺の波が大きく広がりますように！</p>	貴重なご意見として頂戴し、関係課と共有させていただきます。
25	その他	-	-	<p>変化は必然であり、停滞は衰退であり、死への道である。</p> <p>街の更新は絶対に必要で、昭和40年代以降の武蔵野市のパークエリアについてのハード面での投資は、市民レベルでは、全く行なわれてこなかった。（肌感覚として）此の度のNEXT-吉祥寺2021においては、是非実際の実行を実現してほしい。</p>	貴重なご意見として頂戴いたします。
26	その他	-	-	<p>井の頭公園と街とを有効に機能させるべきとは、全く同感で地元でも永らく唱えられてきたことです。</p> <p>井の頭恩賜公園の誕生のきっかけの、渋沢栄一の「東京市養育院感化部井之頭学校」を、大きく宣伝（話題は短期であろうが）すべきと思います。</p>	貴重なご意見として頂戴いたします。
27	その他	-	-	<p>東京都の都市づくりの方針が平成31年に改訂されました。「新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針」が、それです。その中で、吉祥寺が、「枢要な地域の拠点地区」に指定されたのです。そのことが、今回（案）の中に全くふれられていないことは残念です。</p> <p>その範囲は、NEXT-吉祥寺で考えている範囲とほとんど同じで、「活用方針」の勉強と活用が必要と考えます。</p>	<p>今後30年の吉祥寺の将来像については、「吉祥寺グランドデザイン2020」にて示した内容となっており、エリアごとの将来像も示しております。</p> <p>「NEXT吉祥寺2021」は「吉祥寺グランドデザイン2020」を踏まえたまちづくりを推進していくための行政計画となっております。</p>

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
28	その他	-	-	<p>去年12月に開発公社が都市再生推進法人に指定されたとのことだがパークエリアこそ都市「再生」すべきエリアである。</p> <p>実行に移す際には、あらかじめ計画段階から、地元商店会（パークロード商店会、吉祥寺南口商店会、御殿山幸栄会、吉南商店会）を必ずメンバー入りしてほしい。今まで、そのような働きかけがあったということを寡聞にして、きいておりません。</p> <p>現在地元の有志で構成されている「吉祥寺南口駅前地区準備組合」も、平成12年当時、武蔵野市開発公社からの提案が基になって発展してきたものであり、ステークホルダーの有力な一要素として参加させてほしい。</p>	<p>貴重なご意見として頂戴し、都市再生推進法人(※)である武蔵野市開発公社と共有させていただきます。</p> <p>※まちづくりに関する豊富な情報・ノウハウを有し、運営体制、人材等が整っている優良なまちづくり団体を都市再生特別措置法に基づき、地域のまちづくりを担う法人として市が指定するもの。</p>
29	12~13	7-2(1)-1 / 7-2(1)-2	駅周辺の交通体系の改善（交通結節機能の再編）／南口駅前広場の整備	<p>吉祥寺駅南口広場については計画の時から20年ほど経過しているが、未だ実現されていない。</p> <p>市民の血税を投入し、安全を確保する予定が、今なおパークロードにはバスがひっきりなしに入っており、危険な状態はなにも変わっていない。</p> <p>大勢の誘導員が苦労しながら大声を張り上げては休み、張り上げては休んでいる光景は、異常なものを感じる。</p> <p>例え、いつの日か交通広場が完成したとしても、現状の井の頭通りに、バス停留所が連なる悲劇的な状況は果たして解消されるのか？</p> <p>吉祥寺大通りから、井の頭通りを右折する路線バスが、車を遮断し、急いで右左折する際に感じる危険な状況は解消されるのか？</p> <p>いい加減、今の遅延している計画自体をスパッと止めて、バスの車両を小型化するなど、他の方法を考える時期なのではないか。</p> <p>市長はどう考えているのか？前任者・前々任者の時代に決まったことなのかもしれないが、現市長の判断を問いたい。</p>	<p>井ノ頭通りを含む吉祥寺駅南口周辺の交通環境の改善と安全な歩行空間の確保を図るため、平成12年に南口駅前広場を都市計画決定しました。</p> <p>約1,900㎡の駅前広場内にバス降車場、タクシー待機場所などを設けることにより、パークロードからバスの通行をなくし、歩行者優先化を図るといものです。</p> <p>これまで地権者との折衝を重ねながら用地取得等の事業を進めておりますが、関係権利者の生活再建等の問題もあることから、整備には時間がかかっております。</p> <p>また、市としても南口駅前広場の整備によって南口駅前周辺の交通課題の改善を図れるものの、残された交通課題の解決に向けて駅周辺の交通体系の検討を進めてまいります。</p>
30	13	7-2(1)-3	武蔵野公会堂を含むパークエリアの将来像立案	<p>老朽化した公会堂の処遇についても、「周辺の面的な整備に合わせて実施を検討する」とあるが、具体性が全く読み取れない。コンサルタントに公会堂の老朽化に関する調査を依頼したという記事が新聞に掲載されたが、市長は具体的にどのような意図で依頼をしたのか？武蔵野市は比較的文化度が高いと感じる。子供・学生・社会人・家族・高齢者それぞれのニーズにあわせて、「知恵・知識の吸収の場」・「就労・起業などの自己実現の機会・場所」を提供するためには図書館等の施設が必要だと考える。また、ホールであれば市内の吹奏楽部や音楽隊（バンド）の発表の場に使うことも考えられる。市長は、公会堂をどうしようと考えているのか、市長としての回答を求めたい。</p>	<p>令和2年度に建物の構造躯体の健全度調査を行い、所定の基準を満たしているとの結果が出ております。</p> <p>今後、武蔵野公会堂の耐震性・設備等劣化調査等を行い、その結果も踏まえつつ、武蔵野公会堂が引き続き市民文化の交流拠点・発信拠点としての機能を有していきけるよう、パークエリアのまちづくりの将来構想とともに一体的な検討を進めてまいります。</p> <p>また、前述の吉祥寺が抱える交通課題の解決に向け、面的な市街地再編も視野に入れつつ、駅周辺に求められる都市機能を検討し、パークエリアの将来像を立案いたします。</p>
31	14	7-2(1)-4	駅から井の頭公園までの道のりのデザイン・整備	<p>吉祥寺の駅南口から井の頭公園にむけてのエリアは、武蔵野の貴重な資源である。前任者の方針に任せてではなく、市長が積極的にこれらの開発に関与しなければ、ものごとは停滞する、まるで井の頭通りのバス停の光景の様に。</p>	<p>貴重なご意見として頂戴いたします。</p>

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
32	10	6	将来ビジョン	現在、南町地区の環境浄化推進地区指定の陳情が市に上げられています。当該地区は、P.15に記載されているように、イースト吉祥寺と連絡し、エリア内の回遊を高める重要な地区であり、マップに同じように、安心安全のマークを入れてください。	素案時点でのアイコンの位置については、個別施策に記載されている道路、公共施設等の位置付近に表示をしておりました。アイコン表示位置については再度精査をし、まちづくりの戦略図には重点的な取組みを記載し、重点的な取組みに対応するアイコンを表示させることといたしました。
33	15~16	7-2(2)-1	イーストエリアの賑わいの創出	賑わいの創出は、質の良い賑わいを創出するよう、安心安全マークも入れてください	「(2-1)イーストエリアのにぎわい創出」の親分類である、基本的な方針「(2)ウォーカブルなまちづくりの推進」の文中にて、「歩行者が安全・安心で歩きやすい・歩きたくなる道路空間」と明記しており、「安全・安心」を土台として、(2-1)イーストエリアのにぎわい創出を推進いたします。アイコンについては、視覚的な見やすさのため使用としているため、取組みの意図するところについては、文章にて表現させていただきます。
34	15	7-2(2)-1	イーストエリアの賑わいの創出	七井橋、パープル、中道通りに、景観整備優先道路となっておりますが、イースト地区の、本町稲荷通り、299号線についても、同じく景観整備優先道路にしてください。なぜイースト地区だけが外されているのか納得できません。	区画道路としての表現のみになっていたため、以下のとおり修正させていただきます。 イーストエリアは、どのエリアよりも早く面的な景観整備（カラー舗装）を実施しております。 個別施策名 ・本町稲荷通り(景観整備優先路線)、市道第299号線の整備の推進
35	その他	-	-	東口交番斜め前の、一角について、吉祥寺駅の目の前、イースト地区入口であるのに怪しい小道があり、いつも喫煙者があふれ恐ろしくて近寄れない場所になっています。駅目の前の一等地がいつまでもあの状況で良い筈がありません。環境整備は必須だと思います。是非優先事項として何とかしてください。	貴重なご意見として頂戴し、関係課と共有させていただきます。
36	18	7-2(2)-4	快適な居場所づくりの推進に向けた各主体との連携	環境づくりの推進賛成です。居場所づくりとありますが、昼間の居場所が夜のたまり場にならない配慮のある計画をお願いいたします。以前からだんだん目立ち始めた路上呑み、禁煙地区内での夜間の堂々とした喫煙、吸い殻のポイ捨て、道路でのスケボー、飲食後のゴミの散らかし、路上での排泄、嘔吐…。人が集まるところに起きている状況です。昼間はゆったりとした空間が、夜には一変します。コロナ禍でさらに悪化しています。この問題は何度も市に上げています。市長との面談、コロナの状況下には要望書も提出いたしましたが、それに対する市長からの返事すらございません。深刻な問題ですので、改善できるような街づくり、居場所づくりをお願いいたします。	基本的な方針「(2)ウォーカブルなまちづくりの推進」の文中にて明記しているとおり、「歩行者が安全・安心で歩きやすい・歩きたくなる道路空間」を目指し、施策を推進いたします。また、環境悪化に関するご意見については、関係課と共有させていただきます。
37	28	7-3	重点的な取組みを支える市の取組み	景観まちづくりの推進は、景観条例の制定を目指し検討してください。	貴重なご意見として頂戴し、関係課と共有させていただきます。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
38	30	8	まちづくりの推 進方策	①各方針を包括的に動かせる方策 人が訪れることによって活かされている吉祥寺にとって、今般のコロナ禍における対応策は各重点的な取組みの中での滲み出しは必須で、新型コロナに限らず、今後、このような「災害」が発生した際、各方針を包括的に動かせる「方策」の位置づけも必要かと思います。	「NEXT吉祥寺2021」の上位計画として「武蔵野市第六期長期計画」が存在しております。 「武蔵野市第六期長期計画」は市の全ての個別計画の最上位に位置しており、分野を超えた総合的な視点でまちづくりを進めることとしています。
39	30	8	まちづくりの推 進方策	②ステークホルダーが主体的にまちづくりに参加できるプラットフォーム 「吉祥寺のまちづくりに関わる様々な主体も、積極的にまちづくりに参画し、ステークホルダー間の連携によるまちづくりを一体的に推進」とありますが、より具体的にそのプラットフォームとなる場も位置付けておいた方が良いと思います。 例えば、小学生でも吉祥寺のまちづくりに対して、どんどん発言できたり、提案できたりする場があることで、自分事として捉えて貰うことが大事だと思います。 また、リアルタイムでのまちづくりの情報共有の場としてもプラットフォームは必要で、ひとの繋がりも広がるはずです。	プラットフォームとなる場所の具体的な位置づけは行っておりません。重点的な取組み(1-3)、(5-1)に記載している社会実験等を通じて、「場づくり」に向けた検討を今後行っていく予定です。
40	その他	-	-	界限性を重視するにあたり、特にハーモニカ横丁や、中道通り等ウエストエリアで、今後建築物の建て替えがおこなわれる際には、少なくとも今現在のまち並みの雰囲気が残される外観の素材、色等の規制を作り、界限性を保ち、発展させていくことが重要と思います。 もっと回遊性を高めたり、雰囲気良くすることは吉祥寺のまち並みの維持、発展に資するものですし、その土台作り(建築作り)をしていくことは吉祥寺の未来に繋がっていくものと考えます。	本編31、32頁「6-4重点的な取組みを支える市の取組み」にて「④地域主体のまちづくりの支援」「⑦路上看板等の改善指導」「⑧景観まちづくりの推進」として記載をしております。
41	15	7-2(2)-1	イーストエリア の賑わいの創出	「人の流れを誘因する目的の創出が求められる・・・歩行者が安全に安心して歩ける道路空間を目指す」という表記について ・魅力的な「イーストエリアの賑わい」が創出されると同時に、イーストエリアに住居する人も快適な環境が保証されなければならない。 ステークホルダーによるまちづくり参画が、「居住する～そこで楽しむ」を両立させてくれることを願う。	「(2-1)イーストエリアのにぎわい創出」の親分類である、基本的な方針「(2)ウォークアブルなまちづくりの推進」の文中にて、「歩行者が安全・安心で歩きやすい・歩きたくなる道路空間」と明記しており、「安全・安心」を土台として、「(2-1)イーストエリアのにぎわい創出」を推進いたします。
42	23	7-2(4)-2	安心して過ごせ る環境づくり	・安心、安全なまちづくりには、現在ある、それを損なう環境に対しての働きかけが必要。「環境浄化の取り組み推進」となっているが、時々パトロールする方法以外にも、常に「この地域」に意識を向けておくことが市民にも、行政にも求められる。もう一言、積極的な姿勢が見える言葉が並ばないでしょうか？	「(4)安全・安心なまちづくりの推進」には記載していませんが、「環境浄化の取り組み推進」と並行して、本編17頁「点在する市有地の利活用に向けた検討」、「本町稲荷通り(景観整備優先路線)、市道第299号線の整備の推進」、本編29頁「④地域主体のまちづくりの支援」、本編30頁「⑦路上看板等の改善指導」、「⑧景観まちづくりの推進」といった取組みを記載しております。 掲載が重複してしまいますが、「景観整備優先路線の整備の検討・推進」を「(4)安全・安心なまちづくりの推進」の個別施策として再掲させていただきます。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
43	その他	-	-	<p>1. 基本的な考え方について</p> <p>まず初めに、以下は「(仮称)NEXT-吉祥寺2021(素案)」が、「武蔵野市第六期長期計画との整合性を図りつつ、吉祥寺の将来像を踏まえた今後10年のまちづくりの方策」であるという視点からの意見です。第六期長期計画策定に際しても、TEAM299として様々な形で意見を述べさせていただき、「基本施策5」の「(1) 様々な環境問題への対応」の項目に「愛護動物の生命を尊重し、適切な飼い方指導や虐待防止の相談などについて、関係機関と協力して取り組む。」の一文を加えていただきました。今後10年間の施策の基となる第六期長期計画にこの一文が入った意味は非常に大きく、今後のまちづくりに生かすことができると考えています。大変残念なことですが、当初第六期長期計画(案)には動物に関する内容が全く含まれておらず、欧米先進国ではスタンダードな「動物に関する概念」や、世界的にも注目されている「動物が人に与える効果」などが、武蔵野市では全く理解されていないと感じていました。意見交換の場でも欧米で当たり前の意識である「アニマルウェルフェア」という言葉を聞いたことがないと言われ驚きました。ご存知の様に、ペットの犬の数は15歳未満の子供の数を超えており、猫は犬の数を上回る飼育数となっています。この10年の間に社会の中でペット動物の位置づけも変化していて、飼い主にとっては家族同様の存在であり、ペットに関する様々な問題を解決する上で、行政側も動物に対する考え方を現状に即したものに変わっていかねばならない時期に来ていると考えています。しかしながら武蔵野市の動物を取り巻く現状は、他のまちと比較しても非常に遅れていると言わざるを得ません。自治体の規模から、動物行政に係る専任の職員(獣医師)がいない武蔵野市では、さまざまな問題に対し専門的な知識をもって対応できていないと感じています。このような状態を今後も継続していくことは、市民全体にとって大きな損失であると考え、今後10年間の市政の基礎となる本長期計画には、是非とも「アニマルウェルフェアの概念に基づき、人と動物が共生するまち武蔵野市を実現する」ための計画を盛り込む必要があると考え要望しました。</p>	「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」への貴重なご意見として頂戴いたします。
44	その他	-	-	<p>2. 基本目標(第六期長期計画)について</p> <p>1. 多様性を認め合う 支え合いのまちづくり</p> <p>人と動物が共生するまちづくりが、まさに多様性を認め支え合うことにつながると考えます。市民全体が、人だけでなく動物に対しても福祉(アニマルウェルフェア)の概念を持つことが、ペットを飼う人とそうでない人との問題解決につながり、支えあう気持ちの醸成に役立つと考えています。アニマルウェルフェアの概念、「5フリーダム(飢えと渇きからの自由、不快からの自由、痛み・傷害・病気からの自由、恐怖や抑圧からの自由、正常な行動をする自由)」を持ち、人の生活の様々な場面でかわる動物に対する意識を変えることは、結果的に他人や自分より弱いものを思いやる気持ちにつながり問題発生を未然に防ぐことに役立つと考えるからです。</p>	「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」への貴重なご意見として頂戴いたします。
45	その他	-	-	<p>2. 未来ある子どもたちが 希望を持ち健やかに暮らせるまちづくり</p> <p>アニマルウェルフェアの概念は、子どもたちが心身ともに健やかに暮らし成長する上で非常に重要な意味を持っています。例えば、学校飼育動物や展示動物(動物園など)を通して命に対する意識を醸成する上でも、5フリーダムの考え方は非常に重要です。人間の都合で動物の飼育環境や飼育方法、利用を考えるのではなく、動物の本来の特性に配慮した飼育や展示をすることが、子どもに命との正しい向き合い方を教えることに繋がり、命を愛しむ気持ちの醸成につながると考えるからです。子どもたちが生活する環境の中で、アニマルウェルフェアに沿った動物の扱いを見て体験することは、動物虐待の抑制につながると考えています。子どもの時期に動物の虐待を経験することが、心の健全な成長にマイナスの影響を及ぼすことは、過去の犯罪事例を見ても明らかです。また、ペットショップやアニマルカフェなどが市内に増えることで、アニマルウェルフェアの観点から非常に問題の多い展示方法(虐待と判断されるような展示)を子供たちが日常的に見続けることの影響について、早急に考えなければなりません。その飼育環境が当たり前である意識を植え付けることで、動物虐待に対する意識が麻痺してしまうことが懸念されるからです。</p>	「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」への貴重なご意見として頂戴いたします。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
46	その他	-	-	<p>4. このまちにつながる誰もが 住み・学び・働き・楽しみ続けられるまちづくり 「多様な魅力を持つまち」は、住む人、訪れる人にとってまちが心地よく魅力的でなければならないと考えます。近年、武蔵野市内（特に吉祥寺周辺）には、ペットショップやアニマルカフェが急増しています。これらの店舗は、動物の展示環境や扱いがアニマルウェルフェアの観点からも問題が多く（動物の特性を無視した、虐待と判断される展示や扱いなど）、訪れる人や市民からもまちに対する印象が悪いという声を多く聞くようになりました。また最近、素性のはっきりしない動物保護団体を名乗る団体を駅前で頻繁に見かけるようになっており、動物を利用した資金集めに対し善意の市民が寄付してしまっていることも問題だと感じています。そのような団体が吉祥寺の正面玄関である駅前に頻繁に現れる背景には、それを容認してしまうまちのあり方にも原因があると考えています。動物に関する意識の高い人が増えている中、それらアニマルウェルフェアへの配慮が足りない店舗の増加などは、心地よいまちと言えないばかりか、むしろ不快感を持つ人が増える懸念があります。このまま放置すれば、まち全体のイメージダウン、街の魅力が損なわれることに繋がると考えています。</p>	<p>「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」への貴重なご意見として頂戴いたします。</p>
47	その他	-	-	<p>3. 分野別の課題（第六期長期計画）について (1) 健康・福祉 健康寿命の延伸に、動物とのふれあい（アニマルセラピー）が効果的であることは医学的に証明されている事実です。特に高齢者福祉施設では、動物とのふれあいを取り入れることで、認知症状に改善が見られたり車椅子でなければ移動できなかった人が自力で歩行できるまでに回復するなどの事例も報告されています。動物を介在することでシニアの方々の笑顔や会話が増えたり精神状態が安定する、表情が豊かになる、またそこで働く人の癒しになるなどの効果も確認されています。このように健康増進、メンタルヘルスに効果的なアニマルセラピー（動物とのふれあい）ですが、市内にはアニマルセラピーが実施できるような公共の施設は現状一か所もなく、非常に遅れていると言わざるを得ません。欧米ではアニマルセラピーは既に多くの国で取り入れられていて、国内でも徐々に増える傾向にあります。武蔵野市にもアニマルセラピーに関してのバリアフリーが必要だと考えています。多様性を持った福祉を実現するためにも、今後の計画にはぜひアニマルセラピーを人の福祉に取り入れられるよう、福祉施設や公共の場所での動物受け入れに向けた基盤づくりを要望します。</p>	<p>「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」への貴重なご意見として頂戴いたします。</p>

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
48	その他	-	-	<p>(2) 子ども・教育 児童虐待の件数は2012年から増え続け、昨年は1,380件で、そのうち身体的虐待が8割を占めているとのこと です。社会問題になっている児童虐待やDVの増加ですが、虐待を行う人の約70%が過去に動物虐待をして いたというデータもあり、動物虐待と暴力の関連性は実証されています。例えば、全米人道協会副会長ラン ダル・ロックウッド氏によると、MA動物虐待防止協会と米国のNE大学の研究(1997年)で、動物虐待者は動 物虐待歴のない人に比べ、人に対する暴力犯罪を犯す確率が5倍、窃盗罪を犯す可能性が4倍、NJ州で児童虐 待のあった53の家族からの聞き取り調査では、60%の家庭で家族の一員が動物虐待を行っていたとのこと です。DVについても同様で、夫の暴力が原因でシェルターに避難した女性101人のうち、夫から「ペットを殺 す、傷つけると脅された」が70%、「実際に傷つけられた・殺された」が54%。一方DVのない家庭では 「脅された」16.7%、「実際に傷つけられた」3.5%と大きな差がありました。さらにDV被害女性の61.5% が「子供が動物虐待の現場を目撃」、この子供たちの2/3は「自らも動物を虐待」していました。親から虐 待を受けたり、DVを目の当たりにした子は、動物や他の弱い存在に対し暴力を再現する傾向があることを示 している結果です。つまり、動物虐待する子供は将来人間に暴力を向ける可能性があり、動物虐待する親 は児童虐待している可能性があり、動物虐待する子供は親から虐待されているか、親の暴力を目撃している 可能性が高いということです。ここで重要になるのが「虐待の定義」ですが、虐待には積極的(意図的)虐 待(暴力)と消極的虐待(ネグレクト)があり、日常生活の中で目にする動物の飼育環境や扱いがそのどち らであっても、子どもたちの心の成長に大きく影響することは間違いありません。まちなかで見かけるペッ トショップの生体展示やアニマルカフェでの動物の扱い、学校飼育動物の飼育環境や飼育方法、動物園など の展示動物の飼育環境や商業施設における移動動物園での動物の扱い(ふれあいなど)、それら全てがアニ マルウェルフェアに沿っていない場合虐待に当たることを考えると、日常的に虐待の状況に置かれている動 物を見てその環境を体験すること自体が、情操教育とは真逆の状況であることは明らかです。学校教育の質 の向上の点においても、学校飼育動物に関するアニマルウェルフェアに沿った考え方が重要になってきま す。つまりアニマルウェルフェアの概念は、子どもの心身の成長において避けて通ることができない重要な 概念であると言えます。「市内で飼育される動物は、アニマルウェルフェアに沿った飼育をしなければなら ない」と示すこと、その観点でのまちづくりが、長期的に見て動物の虐待減少、児童虐待・DVの減少に繋が ると考えます。</p>	<p>「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計 画」への貴重なご意見として頂戴いたします。</p>
49	その他	-	-	<p>(3) 文化・市民生活 1)時代に合ったコミュニティのあり方検討と市民活動の連携 市内にあるコミセンの全てに犬が入ることができないなど、公共施設への犬の立ち入りが制限されている現 状は、時代に合ったコミュニティのあり方と言えるのでしょうか。一般市民に広く開放されているはずの 公共施設や公園など公共の場所が、犬の飼い主であるという理由で利用の機会を奪われることがあってはな らなないと考えます。利用の機会が広がれば、飼い主同士のコミュニティが構築され、災害時のネットワー クづくりにも役立つと考えています。飼い主同士が意識を高め合うことでマナー意識が浸透し、人と動物が 共生できるより良いまちづくりに向けた動きに繋がって行くと考えています。動物が人に与える良い影響を 知り、市民全体が動物と共生する意識を持つことが、より文化的で上質な市民生活を旨とするに繋がるの ではないでしょうか。動物をコミュニティから排除するのではなく積極的に受け入れることで、これまでで ない市民活動の連携が生まれ、まちづくりに生かされると考えます。 13) 災害への備えの拡充 災害対策の中でも、武蔵野市のペット防災に関する備えはほとんど進んでいないと感じています。他の自治 体では、積極的に住民向けのイベントを開催するなど、防災意識を高めるための動きが活発化しています が、市ではペット同行避難訓練にとどまっているのが現状です。災害時は人だけでなく動物も同様に被災しま す。ペットは飼い主にとって家族であり心のよりどころであることから、過去の災害を教訓にペットの同 行避難が飼い主責任として環境省のガイドラインにも明記され、ペットの命を救うことは飼い主の命を救う ことに繋がると認識が共有されるようになりました。避難所でのペット受け入れ態勢の整備はもとま り、市民団体との連携も重要だと考えます。VMATのような組織形成も視野に、今後のペット防災計画、ま ちとしての受け入れ態勢の構築が必要と考えます。</p>	<p>「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計 画」への貴重なご意見として頂戴いたします。</p>

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
50	その他	-	-	(6) 行・財政 2)効果的な広報の仕組みづくりとシティプロモーション 市の魅力の向上という視点を踏まえた「新たなブランディング」という点においても、「人と動物が共生する武蔵野市」「動物に優しいまち武蔵野市」というブランディングは、今後10年を見据えた新たな視点として市の魅力の一つに相応しいと考えます。現状は、吉祥寺駅周辺にペットショップやアニマルカフェが乱立し、とても「動物に優しいまち」とは言えない状況です。吉祥寺周辺には現在ペットショップ6、ブリーダー5、アニマルカフェ9と、動物（生体）関連業者非常に多く密集する地域となっています。それらの多くがアニマルウェルフェアに沿わない飼育や展示を行っており、そのような業者が点在する武蔵野市のイメージは決して良いとは言えません。近年、ペットショップの乱立を多くの方から「ペットショップだらけ」と指摘されるようになってきました。生体を扱う業者の多くがアニマルウェルフェアに配慮しないビジネスをしていることから、昨年改定、今年6月1日施行の「動物の愛護と管理に関する法律」でも、アニマルウェルフェアに沿わない業者に対する規制が強化されました。東京都の条例だけでは地域ごとの問題に対応しきれないのが現状で、武蔵野市は独自にアニマルウェルフェアを掲げた「人と動物が共生するまち」として、今後それらの業者に対する指導監督ができるまちづくり体制を構築して行くことも重要だと考えます。	「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」への貴重なご意見として頂戴いたします。
51	その他	-	-	<まとめ> 以上のように「人と動物の共生できるまち」バリアフリーなまちは、様々な場面で不可欠な課題であり、今後10年間のまちづくりに不可欠な観点であると考えます。	貴重なご意見として頂戴いたします。
52	その他	-	-	吉祥寺のまちが「人と動物が共生するまち」「住みたいまち、住み続けたいまち」であるために、「アニマルウェルフェアの概念に基づき、人と動物が共生するまち」を目指すまちづくりが行われることを切望いたします。	貴重なご意見として頂戴いたします。

意見 番号	素案 ページ	章項目 番号	項目名	意見内容 (原文のまま記載)	対応方針
53	その他	-	-	<p>大変さめ細かな案をおまとめ頂き有難うございます。 プランは多岐にわたるので、私からは一点に絞って文化・芸術面について申し上げます。 昔から文化人が多く住み、文化の香りの濃い武蔵野市であり、文化レベルの高い自治体というのが武蔵野市の看板であると思うのですが、それを維持し、さらに発展させよう、という取り組みが見えない、文化や芸術に精通している委員がいらないのではないかと考えるほどで、残念です。今回の素案では<文化・芸術面のケアが弱い>点を指摘したいと思います。 8つの重点施策の中では、「豊かな文化の発展と活力をもたらす産業の振興」とそれっぽいのがありますが、産業の振興が文化の発展をもたらす?~産業の振興がなくては文化が発展しないのか?と、この結びつきがわかりません。 私は音楽(楽器演奏)を趣味とする市民で、その活動を通して文化・芸術に関わりたいと思っているので、各論的ですが、音楽を例に申し上げます。 武蔵野文化会館はプロのための営利の施設であって、市民が使える練習室等はありません。吉祥寺南口にある公会堂はランドデザインのミーティングでもちょっと話には出ていましたが、築30年以上で老朽化が著しく、近隣の三鷹市や小金井市の持つホール(三鷹市芸術文化センター、小金井市の施設宮地ホール)に遠く及びません。 三鷹市、小金井市のホール付き施設は防音装置付きの練習室が4部屋以上備わっており、絵画や習字、焼き物等の展示会のできるスペースも備えていて、文化・芸術活動を後押ししていることがよくわかります。 私たちは武蔵野市民でありながら、武蔵野市に適切な施設がないため、近隣の市のこれらの施設を使わせてもらっている始末です。 武蔵境にはスウィングホールというのがありますが、これも市民が気軽に使える施設ではありませんし音を出せる部屋(練習できる部屋)がありません。同じく武蔵境にある市民会館は老朽化しており、ピアノがあるのは音楽室と会議室ですが、会議室は防音装置がないということで、楽器演奏には使わせてもらえません(ピアノはただ置いてあるだけの飾りです)。 このように音楽一つ例にとっても、市民の文化・芸術活動をサポートするというシステムが機能していないと言わざるをえない。これに関する対策をぜひランドデザインの中に入れてほしいと思います。 武蔵野公会堂を今後建て替えるときには、三鷹市、小金井市、渋谷区文化総合センター(大和田)、江東区豊洲文化センター等最新の設備を備えた施設をぜひ訪ねて勉強して頂き、参考にし、音響専門家や実際に使用する市民の声を反映させてユーザーにとって使いやすい施設を文化都市武蔵野の顔として作り、是非文化・芸術の発信基地としてほしいと思います。</p>	<p>市政全般に対するご意見として頂戴させていただきます。いただいたご意見については関係課と共有させていただきます。</p>
54	その他	-	-	<p>素案中に使われた「ハーモニカ横丁」は誤りです。正しくは「ハモニカ横丁」です。 私は昭和20年代の吉祥寺生まれですが、ハーモニカ横丁など聞いたことがありません。以前に一度あの路地入口に「ハーモニカ横丁」という看板が掲げられ、違和感がありました。ほどなく取り外され、今は正しく? 「ハモニカ横丁」の看板となっています(駅正面から見えます!)。ハーモニカはやめて下さい!</p>	<p>ハーモニカ横丁の名称の由来も諸説あり、市としては「ハーモニカ横丁」も「ハモニカ横丁」もどちらも誤りではないと考えております。 「NEXT吉祥寺2021」の上位計画である「武蔵野市第六期長期計画」に倣い、「ハーモニカ横丁」としております。</p>